

## 環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	4RB-2403
研究課題名	「減る固有種」と「減らない固有種」の遺伝的多様性ホットスポットと生態情報の比較による重点保全地域の提案
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	弘前大学
研究代表者名	相馬純

### 1. 評価結果

評価ランク：A

### 2. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、特定外来生物グリーンアノールによる捕食の影響が著しい小笠原諸島の昆虫のうち、カメムシ類に着目して、発生消長の解明、アノールの捕食圧の評価、遺伝的多様性のホットスポットに着目し、併せて分類学的研究を実施するものであり、中間研究成果報告の段階において、研究は順調に進んでいるものと評価された。一方、陸生カメムシは生息環境を問わずアノールの捕食を受けるが、小卵多産のため影響を受けにくい、水生カメムシは捕食されにくいという結論は、本研究のタイトルである「減る固有種」と「減らない固有種」の違いを説明することにはならない。また、遺伝的多様性ホットスポットについても、解明はこれからであり、最終的な成果に期待したい。本研究によってさまざまな新発見が報告されている点は評価できるため、今後は環境政策への貢献を視野に入れて、当初の研究目的・研究計画に沿って研究を進めていただきたい。